

みずほCustomer Desk Report 2023/07/25 号(As of 2023/07/24)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.78	1.1125	157.65	1.2856	0.6724
SYD-NY High	141.80	1.1146	157.78	1.2882	0.6756
SYD-NY Low	140.75	1.1060	156.27	1.2799	0.6715
NY 5:00 PM	141.51	1.1062	156.57	1.2825	0.6740
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	35,411.24	183.55	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	14,058.87	26.06	日本10年債	0.4500%	▲0.0200%
S&P	4,554.64	18.30	米国2年債	4.9234%	0.0787%
日経平均	32,700.94	396.69	米国5年債	4.1560%	0.0629%
TOPIX	2,281.18	18.98	米国10年債	3.8774%	0.0415%
シカゴ日経先物	32,755.00	40.00	独10年債	2.3855%	▲0.0390%
ロンドンFT	7,678.59	14.86	英10年債	4.2525%	▲0.0140%
DAX	16,190.95	13.73	豪10年債	3.9890%	▲0.0320%
ハンセン指数	18,668.15	▲407.11	USDJPY 1M Vol	11.04%	0.15%
上海総合	3,164.16	▲3.58	USDJPY 3M Vol	10.09%	▲0.01%
NY金	1,962.20	▲4.40	USDJPY 6M Vol	9.76%	▲0.01%
WTI	78.74	1.67	USDJPY 1M 25RR	▲1.43%	Yen Call Over
CRB指数	280.13	3.65	EURJPY 3M Vol	9.79%	▲0.09%
ドルインデックス	101.35	0.28	EURJPY 6M Vol	9.65%	▲0.10%

東京	東京時間のドル円は141.78レベルでオープン。仲値近辺は底堅く推移したものの141.80を高値に反落。今週は中銀イベントを控え様子見ムードの中、下値を探索するほどの勢いもなく安値141.35では反発し、141.53レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.53レベルでオープン。米長期金利が低下する中でドル円は終始重い値動き。一時140.85まで売られ140.99レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1130レベルでオープン。ユーロ圏各国の7月PMIが発表される中で、ドイツ分が予想を下回るとユーロは一気に1.1065に低下。その後ややもみ合って1.1098レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台後半でスタート。クロス円を中心に円買い圧力が強まる展開を受け、ドル円も軟調な値動きとなり、141円台を割り込み、140.99レベルでNYオープン。午前中に発表された米7月S&Pグローバル米国製造業PMIは予想を上回るも、サービス業PMIとコンボジットPMIが予想を下回り、強弱まちまちな結果を受けて上下する。50日移動平均線付近の140.75まで下落する場面もあったが、その後、米金利が再度上昇する動きを跳ねながら、141円台半ばまで買い戻される。午後米ドル高の流れが続き、終盤にかけては141.55まで値を上げ、141.51レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.11台前半でスタート。ドイツ、フランス、ユーロ圏7月各PMIが総じて予想より悪化した内容を受け、ユーロ圏景気の先行きを懸念した売りが優勢となり、1.10台半ばは急落する。その後、小幅反発し、1.1098レベルでNYオープン。午前中は冴えない米経済指標の内容を受け、1.1103まで戻す場面も見られたが、長続きはせず、その後1.10台後半まで反落する。午後もしり安での推移が続き、1.1060まで続落し、1.1062レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・西

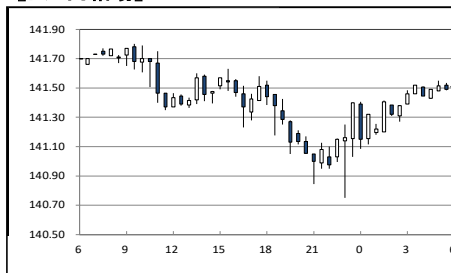
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月24日	16:30	独 製造業PMI・速報	7月 38.8	41.0
	16:30	独 サービス業PMI・速報	7月 52.0	53.1
	16:30	独 コンボジットPMI・速報	7月 48.3	49.8
	17:00	欧 製造業PMI・速報	7月 42.7	43.5
	17:00	欧 サービス業PMI・速報	7月 51.1	51.6
	17:00	欧 コンボジットPMI・速報	7月 48.9	49.6
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 -0.32	-0.13
	22:45	米 製造業PMI・速報	7月 49.0	46.2
	22:45	米 サービス業PMI・速報	7月 52.4	54.0
	22:45	米 コンボジットPMI・速報	7月 52.0	53.0

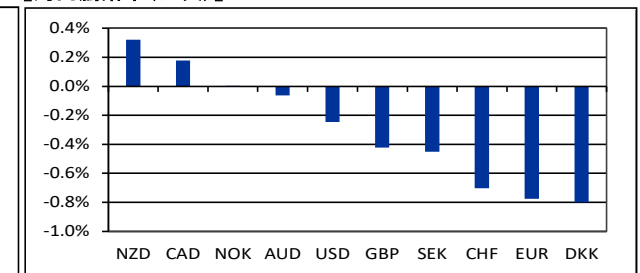
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 88.0	88.5
	17:00	独 IFO現況指数	7月 93.0	93.7
	17:00	独 IFO期待指数	7月 83.4	83.6
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	7月 112.0	109.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.00	1.1000-1.1100	156.00-157.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は140円台後半から141円台前半での取引が中心となり伸び悩んだ。欧州時間は欧州圏・PMIが予想を下回る結果となり、ユーロ/円が下落したことなどから、ドル/円も141円半ば付近から徐々に下落し上値重い推移となった。NY時間も序盤は米・総合PMIやサービス部門PMIが予想を下回る結果となり、ドル/円は140円台後半で一時的に下値を拡大するも、米・製造業PMIの好結果や米金利の持ち直しなどを受けて、再び141円半ば付近まで回復してクローズした。本日もドル/円は141円台を中心にもみ合いが継続すると予想。明日以降に日米欧の金融政策決定会合を控え積極的には動きづらい展開になると考えている。明日の夜に発表される米FOMCでは0.25%の利上げが織り込まれており、ドルの底堅い動きがサポートされると考えているが、イベントを控え値幅は限定的となるのではないかと。